

ひよこのみずあび

No. 72

令和 7 年 7 月 発行
足立区障がい福祉センター
幼児発達支援室ひよこ



新年度が始まり、3か月が経ちました。新しい生活に慣れ、楽しく過ごされているお子さんも、まだ少し緊張しているお子さんもいることと思います。

ご家庭と様々な関係機関とが手を取り合い、お子さん一人ひとりのペースを大切に、多角的に関わり合いながら子育てや支援をすることで、お子さんが笑顔で毎日を送れるようにしていきましょう。

この『ひよこのみずあび』も、お子さんを笑顔にするための一助となることを願います。

今回のひよこのみずあびでは、幼児発達支援室ひよこ（以下、ひよこと略す）の通所指導のご紹介と、感触遊びのご紹介をします。

ひよこは、児童福祉法に基づいて設置されている児童発達支援センターで、発達に課題のあるお子さんが療育を受けるために通っています。通所指導で行う療育は、“スモールステップ”と“ほめること・共感すること”を軸に基本的な生活動作の獲得や、コミュニケーション力の向上を目指しています。また、保護者の方々とお子さんの発達や進路について一緒に考えています。

通所指導の中には、保護者と離れて療育を受ける『分離クラス』と、保護者と一緒に療育を受ける『親子クラス』があり、以下のように分類されています。

※ 通所指導の対象は、こども支援センターげんきや医療機関等で、療育が必要と判断され「発達検査所見書（検査実施後1年以内）」または、愛の手帳をお持ちのお子さんです。

クラス	分離クラス (ぶどう組・めろん組)		親子クラス (いちご組)	木曜親子クラス (りす組・うさぎ組)	金曜分離クラス (ぞう組)
対象	主に4～5歳児		主に2～3歳児	満2歳～3歳児	主に4～5歳児
通所日	週5日 (月～金)	週3日(月～水) または 週2日(木・金)	週3日 (月～水)	隔週木曜日	週1日(金曜日)
時間	9：30～13：45まで ※給食あり			9：30～11：30まで ※給食なし	
その他	通所バスあり	幼稚園・保育園・こども園と併用可能 分離クラス(ぶどう組・めろん組)は通所バスあり 親子クラスは保護者同伴で			幼稚園・保育園 こども園と併用 保護者が送迎

通所指導の職員は、保育士、作業療法士、心理士、言語聴覚士で構成されています。様々な角度からお子さんを捉え、情報を共有しながら指導しています。



感触遊びのご紹介

これからの暑い夏に、室内でできる感触遊び。親子で楽しんでみませんか？

☆ 寒天遊び ☆

準備するもの

粉末寒天、水、食紅、鍋、タッパや牛乳パックなどの容器

作り方

- ① 鍋に水、粉末寒天、食紅を入れて混ぜ合わせる。
- ② ①を中火にかけ、かき混ぜながら溶かす。
- ③ 吹きこぼれないように火加減を調整しながら、2分程度火にかける。
- ④ 火を止め、粗熱を取ったら、タッパや牛乳パック等の容器に流し入れる。
- ⑤ 1時間ほど置いて固まったら完成！

寒天でなく、ゼラチン
やアガーでもOK！
冷蔵庫で冷やし固めると、ひんやりとした感触が楽しめます！

まずは素手で触れたり握ったりして、感触を存分に感じましょう！カップやスプーン等を
用意すると、見立て遊びも楽しめます。



☆ 片栗粉遊び ☆

準備するもの

片栗粉、水、洗面器等の容器

作り方・遊び方

- ① 洗面器等の容器に片栗粉を入れる。
- ② ①の容器に徐々に水を入れて好きな硬さにする。

※まずは水を入れずに片栗粉そのものの感触を楽しんでみるのもおすすめです！

片栗粉が飛び散るので
テーブルや床に大判のシートを敷いておく
と後片付けが楽です♪

トロトロ片栗粉の中に、食紅を入れて色を付けてみたり、ビー玉などを入れて宝探し遊びをしたりするアレンジも！

☆ 氷でお絵描き ☆

準備するもの

製氷皿（ゼリー等のカップでも可）、ストロー、ラップ、水、絵の具（食紅でも可）、画用紙、

作り方・遊び方

- ① 製氷皿に絵の具を入れてから水を足してよくかき混ぜる。
- ② ラップを二重にかけて、その上からストロー刺して凍らせる。
- ③ ②が凍ったら、ラップを外し、ストローをつまんで画用紙の上に絵を描く。

作った氷を口に
入れないように注意
して遊びましょう！

機関紙『ひよこのみずあび』は、
足立区公式ホームページ（<http://www.city.adachi.tokyo.jp/>） 幼児発達支援室
ひよこ（障がい福祉センターあしすと通所事業）にアクセスすると掲載されています。

知ると分かる。すると変わる。



SDGs MODEL ADACHI